

## 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第108回本部会議 記録

日 時／令和4年4月27日（水）  
15：00～：15：28  
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

### 【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第108回本部会議を開催します。  
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

### 【佐賀井新型コロナウイルス感染症対策監】

それでは資料1をご覧くださいと思います。まずスライド1でございます。主な指標の状況につきまして、昨日、4月26日時点で、新規感染者数は、今週先週比で、引き続き1を上回っておりまして、人口10万対の新規感染者数は、札幌市394.1人、札幌市を除く地域で328.1人、全道で352.9人と、いずれの地域も増加が見られております。療養者数も同様の傾向でございます。一方、病床使用率ですが、札幌市18.9%、札幌市を除く地域で14.2%、全道で15.7%と先週比で減少しておりますものの、増減を繰り返している状況にあります。

続いてスライド2です。各圏域ごとの状況を見ますと、新規感染者数は多くの圏域で、先週比が1を上回るなど、増加傾向が見られ、特に道北圏や十勝圏、札幌を除く道央圏、釧路・根室圏では、増加が大きい状況でございます。一方、病床使用率は増減を繰り返しながら概ね横ばいの傾向で推移してございます。

続いてスライド3。総評です。医療提供体制です。療養者数は増加傾向で、人口10万対は441.3人、病床使用率は先週比で減少しているものの、増減をしながらここ数日は増加し、全道15.7%、札幌市で18.9%。

感染状況です。新規感染者数は、3月下旬以降、増加傾向が続きまして、人口10万対352.9人。年代別では、30代以下が7割を超え、特に10代以下の今週先週比は、1.2倍と増加しております。また、地域によっては新規感染者数の増加が見られておりまして、特に旭川市や十勝圏では増加が続いている状況にあります。また、感染性がより高いとされるBA.2系統は、道内では、これまでに186件検出され、道立保健所管内分の検出率は4月21日現在ですが、47.6%、札幌市は4月25日公表分で72.2%となっております。国の専門家によりますと、全国で約8割まで置き換わりが進んでいるものと推定されております。国の推定や道内の状況を踏まえまして、道内におきましても、BA.2系統への置き換わりが進んでいると考えられまして、引き続き、ゲノム解析のモニタリングによりその動向を監視してまいります。

次にスライド4。総評2、今後の対策です。今後の感染急拡大を防ぐため、「普段から」、「飲食の場面」、また「感染に不安を感じる時」の3つの行動や、ワクチンの3回目接種の促進を働きかけますとともに、人の移動や活動が活発となるゴールデンウィークに、特に実践が必要な行動について効果的に呼びかけを行ってまいります。また、地域で地方本部の開催や、振興局が市町村や関係団体と連携しまして、情報共有の取組など進めてございまして、さらには、地域住民や事業者等の方々に、こうした行動などの周知を図ってま

います。ゴールデンウィークは、旅行や帰省などが増える時期となりますので、移動の際の基本的な感染防止行動の徹底、発熱等の症状がある場合には移動を控えることに加えて、混雑している場所や感染リスクの高い場所をできるだけ避けることなど、移動する方と関係する事業者の方々双方に働きかけますとともに、普段会わない方と接する際の行動の徹底についても呼びかけてまいります。また、10代の感染拡大を踏まえまして、ゴールデンウィークは、児童や生徒の家庭における体調管理の徹底を改めて依頼しますとともに、対外試合等を含め、部活動の際の感染防止対策の徹底も改めて、関係団体を含め参加者全体に呼びかけてまいります。

続いてスライド5。総評3です。飲食では、お花見の多い時期となりますので、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話のときはマスク着用など、飲食の際の行動の徹底を呼びかけてまいります。また、飲食店等に対し、改めて感染防止対策チェックリスト項目の遵守や、第三者認証制度の認証取得を呼びかけてまいります。旅行や帰省などの移動の際や、日常生活で感染に不安を感じるなど、検査を希望される方に対し、無料検査が利用できることを呼びかけてまいります。特にゴールデンウィークにおきましては、JR札幌駅や新千歳空港など主要な駅や空港で無料検査を利用できることを積極的に周知してまいります。ワクチン接種ですが、ゴールデンウィークは体調管理をしやすい時期となりますので、3回目接種の積極的な促進に向けまして、若年層に対し様々な媒体を活用して積極的な働きかけを展開しますほか、道のワクチン接種センターにおける団体接種に関し、対象となる大学・企業等への情報提供を強化するなど、更なる推進を図ります。また、ノババックスワクチンにつきましては、本日開催されました国のワクチン分科会において議論がなされまして、予防接種法上の臨時接種に位置つける手続きが進められることとされたので、円滑な接種体制の整備に向け、関係機関等との調整を加速してまいります。また、ワクチンの4回目接種に関しましては、60歳以上、または、基礎疾患を有する者などを対象に、接種間隔は少なくとも5ヶ月経過した後とするなど、事務局案が示されたところでございまして、引き続き情報収集を進めてまいります。

続いてスライド6以降につきまして、何点か主要な動向等を補足説明いたします。

スライド21をご覧くださいと思います。全道における年代別の新規感染者数ですけれども、スライド中央の表にありますとおり、30代以下、60代以上ともに増加傾向にございまして、スライドの枠外の参考ですが、10代以下の増加も顕著でございます。

続いてスライド22。札幌市の状況をご覧くださいと思います。札幌市では、30代以下が増加しているものの、60代以上の感染者は減少が見られ、10代以下は全道と同様に増加が顕著でございます。

続いてスライド23をご覧くださいと思います。こうした一方で、札幌市を除く地域では、30代以下、60代以上、また、10代以下全ての年代で増加が見られておりまして、札幌市以外の地域における感染拡大が進んでいる状況がわかります。

スライド26をご覧くださいと思います。ワクチンの3回目接種の状況ですけれども、4月25日現在では、VRSベースで約274万人と、全人口対の接種率は52.4%で、このうち65歳以上の方は約144万人、接種率は86.3%となっております。その下段の表になりますが、全道の小児の接種率は、1回目が13.5%、2回目が7.5%となっております。

続いてスライドの29をご覧くださいと思います。道のワクチン接種センターですが、現在5月8日までの予約を受け付けてございまして、全日程において、予約枠に一定程度の空きがございますので、接種後の体調管理がしやすいこのゴールデンウィーク中の接種な

ど、引き続き広報活動に努めてまいります。

二つ目の丸になります。現役世代や若者世代の3回目接種の加速に向けまして、道のワクチン接種センターで、企業や大学などの単位での団体接種を受付中でございます。

三つ目の丸です。3回目接種を加速するための広報・啓発を実施中でありまして、新たに映画館での知事メッセージ動画や、札幌市との共同広報などを実施します。

最後になります。スライドの31をご覧くださいと思います。4回目接種の実施ですが、本日開催の国のワクチン分科会におきまして、接種対象者、接種間隔などが議論され、事務局案が示されたところでありまして、この案では資料にございまして、重症化予防を目的とし、60歳以上もしくは18歳以上で基礎疾患を有する方などを対象に、m-RNA ワクチンを使用し、接種間隔は3回目接種から少なくとも5ヶ月経過した後とされておりまして、道といたしましても速やかな接種に向けまして、引き続き国からの詳細な情報収集に努めますとともに、市町村や関係団体等々の調整を進めてまいります。その他のスライドにつきましては、本日の説明に関するデータでございますので、後ほどご覧いただきたいと思います。資料1の説明は以上でございます。

引き続きまして資料2をご覧くださいと思います。資料1、道内の感染状況等について専門家の方々、有識者の方々にご意見を伺いますとともに、市町村や関係団体の皆様にも事前にお知らせしてございます。有識者、専門家の皆様からは概ね妥当である旨のご意見をいただいております。その主なものについてご紹介いたしますと、まず1のとおり、連休中も活動するような少年団や部活動での感染への注意喚起をお願いしたい。3のとおり、若い世代への3回目ワクチンの接種促進をお願いしたい。5のとおり、10代の感染者の増加は、学校と家庭における感染の繰り返しが起点となっていると考えられるため、改めて学校での感染防止対策を点検すべきではないか。などといったご意見が寄せられておりまして、こうした面につきましては今後の対策の参考としてまいります。

私からの説明は以上でございます。

### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いいたします。

### 【山口札幌市感染症担当部長】

札幌市の山口でございます。札幌市の感染状況についてご説明をいたします。それでは最初のスライドをご覧ください。新規感染者の1週間の合計についてであります。昨日4月26日時点で7,731人、人口10万人当たりでは394.1人と増加傾向が続いております。

それでは、次のスライドをご覧ください。入院患者の黄色の棒グラフについてであります。昨日時点で130人となっております。先週と比べますと、今週は入院患者の増加が見られているところでございますが、先週は特に退院される方が多く、入退院のタイミングもありまして、日々の数値は増減をしているところでございます。新規感染者は若年者が多く、また、新規入院患者の大半が軽症という状況は変わりなく引き続き動向を注視してまいります。重症患者の赤の折れ線グラフであります。4人となっております。

それでは最後のスライドをご覧ください。検査件数でございます。1週間の合計ですが、18,043件となっております。1日平均にしますと、約2,500件以上の検査が実施状況であります。陽性率ですが、4割を超えた状態が続いております。

ゴールデンウィークは人の移動や普段会わない方の接触の機会が増えますが、社会活動を進めていくためにも特に感染リスクが高まる場面においては、マスク着用等の基本的な感染対策を徹底して行動することが重要と考えてございます。

以上です。

#### **【副本部長（小玉副知事）】**

次に各振部興局から順次発言をお願いいたします。まず、教育長からお願いします。

#### **【倉本教育長】**

資料4をご覧ください。各学校におきましては、これまでも、感染防止対策に取り組んでおりますが、依然として児童生徒の感染が続いております。今週からゴールデンウィークに入りまして、家族との旅行や友人との外出等の機会が増えることから、保護者の皆様や関係団体の方々と連携いたしまして取り組みの徹底を図る必要があると考えてございます。資料4にありますように、児童生徒及び、保護者の皆さん向けのリーフレットを学校を通じて配付しておりまして、感染リスクが高まる場面や、基本的な対策について改めて周知しております。児童生徒や保護者の皆様には、各家庭において、感染症対策について改めて話し合い、徹底をお願いしたいと考えております。また春を迎えまして部活動も活発化することから、昨日になりますが、部活動等関係者による連携会議を開催いたしまして、部活動等における感染症対策の徹底に関するメッセージを作成いたしました。資料の2枚目でございます。こうしたメッセージを作成いたしまして、各学校や関係団体等に周知するなど、連携して取り組んでいるところであります。道教委といたしましては、引き続き、学校、家庭、地域、団体等と連携し、感染拡大の防止と児童生徒の学びの確保に努めてまいります。

以上です。

#### **【副本部長（小玉副知事）】**

次に建設部長をお願いします。

#### **【北谷建設部長】**

建設部における感染症対策等の取り組みについてご説明申し上げます。資料5をご覧ください。まず一番上にあります道路情報板を活用したお願いについてでございますが、人の流れが増加いたしますゴールデンウィーク期間に向けまして、道道の道路情報板を活用し、広く道民の皆様に対しまして、感染防止対策の徹底について呼びかけを実施することとしております。この取り組みにつきましては、国道管理いたします、北海道開発局等とも連携して行うこととしております。次に、道内11ヶ所の道立都市公園における取り組みについてでございますが、道立都市公園の管理につきましては、各指定管理者が実施しておりますが、建設部では、本部会議の開催状況などを指定管理者と随時共有するなど、日々連携を図りながら、感染防止対策の取り組みを行っています。各公園のビジターセンターや屋内遊戯場などの出入口では、感染拡大防止に向けたリーフレットを配布するなどの対策に取り組んでいるほか、オートキャンプ場やバーベキューコーナーでは、飲食の際の感染対策の注意喚起を行うとともに、人数制限や予約の制限なども行っております。また、都市公園で行われますイベント等の利用時におきましては、各団体などの感染防止ガイド

ラインに基づく対策を徹底し、体調チェックなどを行っているほか、国の接触確認アプリなどの周知や、名簿の作成などにも努めております。ゴールデンウィーク期間におけるこうした取り組みにつきましては、ご来園されるお客さまに対する基本的な感染防止の呼びかけをさらに徹底するなどしっかりと行ってまいります。資料の下段にありますけれども、第39回全国都市緑化フェアが今年度は北海道で開催することとなっております。本年6月25日から1ヶ月間、恵庭市などを会場に開催されますが、ゴールデンウィーク期間に行われる各種PRイベントなども含めまして、感染防止対策を徹底して行うこととしております。建設部といたしましては、道民の皆様が道立公園やイベントなど、安心して楽しんでいただけるよう、引き続き感染防止対策を徹底してまいります。

以上でございます。

### 【副本部長（小玉副知事）】

次に釧路総合振興局長をお願いします。

### 【菅原釧路総合振興局長】

それでは資料6に基づきまして、釧路管内の取組についてご報告いたします。まず管内の感染状況でございますが、グラフを見ていただいておりますとおり、2月中旬に感染のピークを迎えました後、3月下旬まで緩やかに減少傾向が続いておりましたが、年度末から再び増加傾向に転じております。新学期を迎えまして、高校生を中心とした学生の感染が増加しており、これまでの傾向を踏まえまして、今後は家庭への持ち帰りによる事業所や高齢者、社会福祉施設への感染拡大が懸念される状況にあります。

次にこれまでの対応状況でございますが、保健所の体制強化といたしまして、感染状況の悪化に応じて、振興局各課からの応援体制を拡充いたしますとともに、保健所における会計年度任用職員等の増員や、一部業務の委託化を進めているところであります。また、最近は無症状で自宅療養となる方が多く、毎日の健康観察に係る業務負担も増大しておりますが、一部医療機関からは、自宅療養者の健康観察にご協力をいただいているところであり、引き続き、医療機関等と連携をしながら、必要な対応を行ってまいります。

次に感染防止対策の徹底についてでございますが、学生の間で感染が拡大しておりますことから、新学期に向けまして、釧路教育局と市町村教育委員会との連携した児童生徒向けの注意喚起を改めて行っております。また、管内首長との連名によりますチラシにつきましては、管内の感染状況に応じて内容を変更しながら随時作成配布をしているところでございます。また、広報車やSNSなどを活用した注意喚起も行っております。第三者認証店の利用につきましては、引き続き宿泊施設等と連携して推奨してるところでございます。ゴールデンウィークを迎えるにあたりまして、本日の本部会議の内容も踏まえ、明日、管内の首長会議を開催し、現下の感染状況にかかる危機感を再共有するとともに、三密の回避など、基本的な感染防止行動の徹底の呼びかけや、管内首長との連名での共同メッセージの発出による3つの行動の徹底のお願いなどの取り組みを進めていく考えです。

最後にワクチン接種の促進についてであります。接種率の低い市町村へのヒアリングを行い、町の実情を把握しながら、町が持つSNSや防災無線など、様々な機会を捉えて、住民への呼びかけを行っていただいているとともに、振興局におきましても、引き続き3回目接種の理解促進に向けた広報に取り組んでおります。

振興局といたしましては、ゴールデンウィーク期間中は人の移動が活発化し、感染の拡

大が見込まれますことから、市町村や関係団体等との連携をより一層強化し、引き続き感染防止対策に取り組んでまいります。

以上です。

### 【副本部長（小玉副知事）】

このほか、各部振興局からご発言はございませんか。なければ本部長から。

### 【本部長（知事）】

明後日、4月29日から5月8日までは、ゴールデンウィークとなります。ゴールデンウィークは旅行や帰省といった人の移動や、会食機会が増えるなど、活動が活発となる時期であります。この時期を「感染しない、感染させない」で安心して楽しんで過ごすためには、基本的な感染防止対策などを実践していただくことが重要になります。道内の感染状況は厳しい状況にあります。本日の全道の新規感染者は、3,160人となりました。4月21日以来、6日ぶりに3,000人を超えたと、こういう状況にあります。若い世代を中心に感染の増加傾向が続いております。特に10代以下の感染が拡大している状況にあります。また病床の使用率についてであります。15.7%であります。増減をしながらここ数日は増加をしているという状況にあります。道内でもBA.2系統への置き換えが進んでいると考えられる中で、ゴールデンウィークを迎えることとなるわけですが、本道ではこれまで、長期休暇の後に感染が拡大したという経験があります。今週末からのゴールデンウィークは、今後の感染の急拡大を抑えていくために重要な時期となります。このため道民の皆様、旅行や帰省などで来道される皆様には、これまでお願いをしてきた3つの行動や、ワクチンの3回目接種について、特にこの時期に実践いただきたい行動、これを呼びかけていきます。先ほど報告があったとおり、具体的には、旅行や帰省など、移動の際は混雑を避けていただくこと。お花見を含め、飲食の場面では、短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話のときにはマスクを着用していただくこと。移動の際や日常生活で感染に不安を感じる場合などには、検査を受けていただくこと。こうした行動の実践について、道民の皆様や来道される方々に向けて広く呼びかけを行ってください。

無料検査については、ゴールデンウィーク中も札幌駅や新千歳空港といった主要な駅、空港などにおいて検査を受けることができます。多くの皆様に無料検査をご利用いただけるように様々な機会を活かして、その周知を図っていただくように指示をいたします。

そしてワクチンの接種についてです。ゴールデンウィークは休みが続くので、体調管理がしやすいという時期になります。こうした時期を活用して、特に若い世代の方々には接種を検討していただきたいと思っております。また、様々な広報媒体を活用するなどし、若い世代に積極的に接種促進、これを働きかけるとともに、道のワクチン接種センターの活用はもとより、引き続き市町村の取り組みへの支援を行ってください。さらに4回目の接種についてであります。本日、国のワクチン分科会が開催されました。60歳以上の方や、18歳以上の方で、基礎疾患をお持ちの方などを接種対象者とする事務局の案が示されたところでもあります。4回目接種の円滑な実施に向けては、ワクチンの安定供給と、公平に接種できる環境作りが重要となるわけですが、引き続き国から具体的な内容の情報収集に努めるとともに、必要な準備について速やかに市町村と調整を進めてください。

本日、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が行われました。今後の感染拡大時の対応について議論のたたき台が示され、次回以降なるべく早く議論を深めるということと

されました。本道にとっても重要な議論であることから、引き続きこの情報収集にも努めるように指示をいたします。

また、ゴールデンウィークに向け、振興局においては、地方本部を開催していただくなど市町村長や関係団体と連携した情報共有などの取り組みを順次進めていただいている状況にありますが、全ての振興局において地域の状況に応じ、市町村との情報共有などの取り組みを実施していただくように指示をいたします。

最後に、明後日からは多くの医療機関が休診などになるわけであり、普段と環境が変わる中で対応していかなければなりません。ゴールデンウィークを万全の体制で迎えるように、医療機関との連携や業務の体制などについて改めて確認をしていただくように指示をいたします。

私から以上です。

**【副本部長（小玉副知事）】**

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第108回本部会議を終了します。

（了）